



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・ご自身の試料（血液・髄液等）や情報を提供したくない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で
アルツハイマー疾患と診断された方、特に疾患のない方

【研究課題名】

リキッドバイオプシーによる血液由来脳組織特異的細胞外小胞のモニタリング手法の開発

【研究責任者】

足立 淳(医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬デザイン研究センター 創薬標的プロテオミクスプロジェクト)

【本研究の目的及び意義】

血液には体の状態を反映する小さな粒子が含まれていますが、脳由来の粒子はごく少なく見つけることが難しいのが課題です。本研究では、血液から脳由来の粒子だけを集める技術を開発し、脳の病気の变化をより正確に捉える方法を目指します。将来的に、血液検査による早期発見や治療効果の確認など、負担の少ない医療への活用が期待されます。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）

性別、年齢、診断名、脳脊髄液検査結果、脳画像情報

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2030年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

なし

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail : biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)